

名無しと舟を漕ぐ船頭

零式[JOKER]

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

舟に乗った名無しがしやべり倒すだけの物語

誰かの話かもしれないしそうじゃないかもしれない物語

この作品は東方projectの二次創作です、解釈違いなどあったら申し訳ございません

目次

川を渡る船には船頭と少女が一人

1

川を渡る船には船頭と少女が一人

私は、何人も人を斬っていたんだよね

とはいえ、何人もと言つても正確に何人斬つたかなんて覚えていないし、学が無いので数えることも出来ないんだけどさ

それに私は、巷じゃ『殺人鬼』やら『人斬り小町』とか呼ばれ恐れられていたらしいね

最も、私からすれば仕事をしているだけでそんなふうに言われるとは思わなかつたさ
斬つてくれつて頼まれたから斬つただけなのにさ、バケモノの私には人の心はよく分からん

なに？「あたいにはお前さんは人にしか見えない」だつて？

そう言われてもなあ、生まれてから名前も貰えずにずっと刀を持たされて人を斬る事だけを教えられて

終いにや、罵られ石を投げられたんだ、そんな奴をバケモノと言わずしてなんて言うのさ

あーでもさ人斬り小町のこまちつて響きだけは好きだ

どんな風を書くのかは分からんが名前にするにはちようど良さそうだ

笑わないでくれよ、私だってそんな柄じゃ無いのは知ってるよ

それでも自分の名前くらいは考えたってバチは当たらないだろ

「後悔してないのか？」って？

後悔ねえ、あるんだよねとびっきりののが、笑わないで聞いてくれよ

あのな、ヒガンバナつてのを見てみたかったんだ、赤い色のきれいな花らしいじゃないか
いか

笑うなってさつき言つたつばかりじゃないか

笑いながら謝られても困るからやめてくれ

船頭さんは、この仕事好きのかい？

いや何、ただの好奇心だよ

こう言つちやなんだがこんな一日中舟を漕ぎ続けるのって退屈じゃないのかい？

「あたいとしては、あんたみたいなのが居るから退屈しない」ねえ

でも、全員が全員私みたいな奴じゃないだろ

「そういう時は早く対岸に着けばいい」か

そんなものなのか、えらく適当なものだね

ふと思つたんだが、まだ対岸には着かないのかい？

いや、急かしてる訳じゃないよただ思っただけ

なんでそんな変な目で私を見るのさ、私は何もしてないし何も知らないよ
もう岸に着いてしまったのか、楽しい時間はすぐ過ぎてしまうね

そうだ船頭さん、名前教えておくれよ

直ぐに忘れてしまうとはいえ聞いておきたいんだ

「おのづか
鏝塚」

おのづかね覚えた、漢字はわからないけどまあいいでしょ

ありがとうねおのづかさん、また会うことは無いだろうけど

で、閻魔様、私は地獄行きなんですよ？

理由はどうであれ人を殺したんですから

え？「地獄にも天国にも行けない」ってどういうこと？

確かに人を殺すことでしか生きられなかったんだとは思いますが
代わりに、仕事をしてもらうですか

いったいどんなことですか？どんなことでもやりますよ

はあ、新たにできた世界で死神として働いてもらう？

それは構いませんが、いったいそこはどんなところなんですか

人外の理想郷ですか、それはとても楽しそうですね
それじゃあ、私の名前は……

あたいは今日も舟を漕ぐ、死者の話を聞きながらゆつくりゆつくり舟を漕ぐ